

神社の杜(九)

ビジターセンター 所長 片柳 茂生

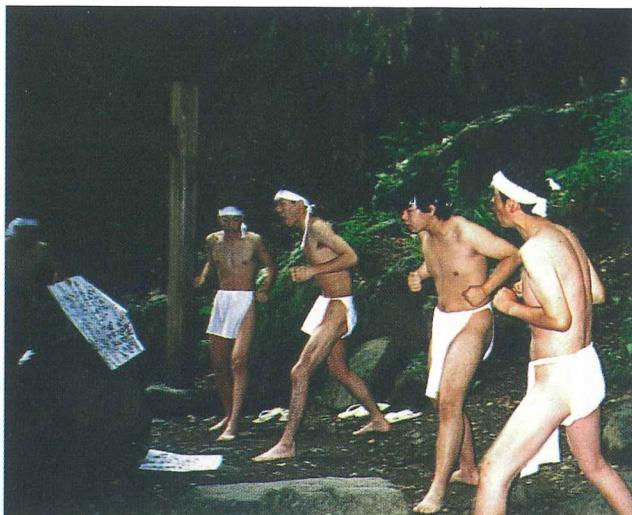
(伝法の巻)
「わいに何か聞きたいことがあるといふのはおまえかい? 儂に何か聞きたいことがあるといふのはおまえかい?」

『草木みなよく言語り』

が済んではじめて御師として認められ、神社に奉仕できるようになるんじゃ。

七日の間に、禊行法・祭式の作法・神職の心得など数多

れるんじゃからプールで泳ぐようなわけにはいかんわい。それも日に朝と夕方の二度やらねばならん。水温が十四度位しかない滝壺に入つて落ちてくる水に打たれるとどうなるんじゃ。



祭式の作法にしたつて、座つて行うのがほとんどだから修行が終わる頃には、膝が真っ赤になつておるわ。

ま、『伝法』が済んだからと言つてすぐに一人前に何でもできると言うわけにはいかんが、後は経験を積んでいくしかないのう。それに、神楽や雅楽もこれから修得せねばならんしのう。

とにかく来年の正月には、この若者たちが神社で立派に声をあげて、早くも五年目になりました。これを機により一層のご購読を賜わりたくカラーページにいたしました。今後もご寄稿をお待ちしております。(片柳)

あとがき



秋虫の女王 カンタン

平成九年九月二十九日発行
「非売品」

編集 武藏御嶽神社

印刷 梶成和印刷

四六(六)卷〇〇